

令和 7年度 施策評価シート（令和 6年度実績評価）

政策 01 ひと
施策 01 子育て支援の充実
主管課： のびのび子育て課
関係課： 社会福祉課、保健予防課、国保年金課、すくすく保育課、土塔中央保育所、北園保育所、生涯学習課

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）

2 施策の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

安心して子育てができるまちだと思う子育て世帯の割合						(%)	のびのび子育て課
基準値 (R02)	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値 (R08)	
88.60	89.30	88.11	85.34	83.95	0.00	90.00	
向上指針	上がると良い	(状況) 昨年度に比べて1.39ポイント低下しているが、ほぼ横ばいである。 (原因) 就学前のお子さんを持つ保護者については、多くの子育て支援拠点事業の実施が安心感につながっているものと考えているが、各自治体が競って子育て関連の独自施策を打ち出しているため、保護者の要望がより高度化していることが一因となっていると推測される。小・中学生のお子さんを持つ保護者については、過大規模校対策や小・中学生が安心して遊べる場所の整備を望む声が多くなっており、課題と捉えている。					
対前年度	横ばい						
目標達成度	低						
次年度課題	課題とする						

希望する保育所に入れなかった児童数（認証保育サービス利用者を除く）						(人)	すくすく保育課
基準値 (R02)	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値 (R08)	
132.00	81.00	59.00	64.00	66.00	0.00	0.00	
向上指針	下がると良い	(状況) 昨年度に比べて2人増加している。 (原因) 入所枠に空きがある保育所はあるが、希望する保育所に入所することができず、利用保留となっている保護者が増加したため、数値が増加している。					
対前年度	低下						
目標達成度	中						
次年度課題	課題とする						

基準値 (R02)	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値 (R08)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針						
対前年度						
目標達成度						
次年度課題						

3 施策に係るコスト（単位：千円）

	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	R08年度
	決 算	決 算	決 算	予 算	見 込
事業費合計	4,791,141	5,739,565	5,506,561	6,833,275	6,783,614
人件費	315,229	386,340	457,149	0	0
トータルコスト	5,106,370	6,125,905	5,963,710	6,833,275	6,783,614

4 基本事業(取組)の状況

[illegible]

令和 7年度 施策評価シート（令和 6年度実績評価）

政策 01 ひと
施策 02 教育改革の推進
主管課： 学校教育課
関係課： 市民協働推進課、保健予防課、生涯学習課、学校給食センター、中央図書館、教育指導課

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）

2 施策の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合（小6、中3）						(%)	教育指導課
基準値（R02）	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値（R08）	
80.00	69.20	78.10	73.00	72.30	0.00	90.00	
向上指針	上がると良い	(状況) 前年度に比べ、0.7ポイント下回る結果となっている。 (原因) 社会状況に不安を感じられるようになってきたことが背景にあると考えられる。 今後も学級活動や道徳を中心に、すべての教科で夢や目標を意識しながら支援していく。					
対前年度	横ばい						
目標達成度	低						
次年度課題	課題とする						

学校が楽しいと思う児童生徒の割合（小6、中3）						(%)	教育指導課
基準値（R02）	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値（R08）	
83.80	88.00	90.70	88.20	87.85	0.00	90.00	
向上指針	上がると良い	(状況) 前年度に比べ、0.35ポイント下回る結果となっている。 (原因) 小学校6年生は90%近くの児童が「学校が楽しい」と回答しているが、中学校3年生になると85%と低くなっている。 学年が上がるにつれ、学習の難易度が上がるなど困難さを感じている生徒が一定数いることが要因と考えられる。学び合いを通して、主体的に学ぶことで学校が楽しく、充実したものになるよう支援していく。					
対前年度	低下						
目標達成度	中						
次年度課題	課題とする						

基準値（R02）	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値（R08）
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針						
対前年度						
目標達成度						
次年度課題						

3 施策に係るコスト（単位：千円）

	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	R08年度
	決 算	決 算	決 算	予 算	見 込
事業費合計	2,299,906	2,941,208	3,578,888	4,835,350	2,392,200
人件費	99,052	105,839	113,930	0	0
トータルコスト	2,398,958	3,047,047	3,692,818	4,835,350	2,392,200

4 基本事業(取組)の状況

基本事業(取組) 名称	成果指標の動向					事業費				
						R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	R08年度
01 確かな学力の育成	維持	向上	向上	低下		151,155	167,420	180,069	202,716	203,965
02 豊かな心を育む教育の推進	向上					65,214	82,495	97,835	135,328	121,721
03 健康と体力を育む教育の推進	向上	低下				610,917	624,099	653,760	717,969	704,582
04 グローバル社会で活躍できる人材を育成するための教育の推進	向上	向上				279,881	299,222	312,469	561,632	531,913
05 地域とともにある学校づくり	向上	向上				0	0	0	0	0
06 学びを支える環境づくり	向上	向上				1,003,439	1,542,799	2,057,847	2,883,324	662,278
99 施策の総合推進						189,300	225,173	276,908	334,381	167,741

令和 7年度 施策評価シート（令和 6年度実績評価）

政策 01 ひと
施策 03 生涯学習の推進
主管課： 生涯学習課
関係課： 中央図書館

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）

2 施策の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

直近 1 年間で生涯学習に取り組んだ市民の割合						(%)	生涯学習課
基準値 (R02)	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値 (R08)	
37.40	36.00	0.00	0.00	59.20	0.00	45.00	
向上指針	上がると良い	(状況) 基準値と比べて、直近1年間で生涯学習に取り組んだ市民の割合は21.8ポイント増加しており、半数以上の市民が月に1日以上生涯学習に取り組んでいることが分かる。 (原因) 市民アンケートの結果、「健康やスポーツに関すること」が24.9%と最も多く、次いで、「仕事に必要な知識・技能や資格に関すること」が23.5%となり、精神的なリフレッシュや新しい知識や技能の習得など現代社会における個人のニーズや社会情勢が強く影響していると考えられる。					
対前年度	向上						
目標達成度	達成						
次年度課題	課題としない						

成人の週 1 回以上のスポーツ実施率						(%)	生涯学習課
基準値 (R02)	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値 (R08)	
31.30	29.30	0.00	0.00	45.60	0.00	50.00	
向上指針	上がると良い	(状況) 基準値と比べて、成人の週1回以上のスポーツ実施率は14.3ポイント増加しており、健康寿命の延伸と生活の質の向上への意識の高まりがうかがえる。 (原因) 学校体育施設の使用団体は増加の一途をたどり、運動・スポーツに取り組む市民が増加している。また、ウォーキングやランニングなど気軽に始められる運動への関心の高まりに加え、民間スポーツクラブの増加なども一つの要因と考えられる。					
対前年度	向上						
目標達成度	中						
次年度課題	課題とする						

基準値 (R02)	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値 (R08)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針						
対前年度						
目標達成度						
次年度課題						

3 施策に係るコスト（単位：千円）

	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	R08年度
	決 算	決 算	決 算	予 算	見 込
事業費合計	399,712	644,205	1,027,328	1,674,080	1,581,747
人件費	73,968	102,934	86,555	0	0
トータルコスト	473,680	747,139	1,113,883	1,674,080	1,581,747

4 基本事業(取組)の状況

[illegible]

令和 7年度 施策評価シート（令和 6年度実績評価）

政策 01 ひと
施策 04 人権の尊重と多文化共生社会の実現
主管課： 人権推進課
関係課： 市民協働推進課、社会福祉課、健幸長寿課、のびのび子育て課、学校教育課、生涯学習課、教育指導課

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）

2 施策の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

人権が尊重されているまちだと思う市民の割合						(%)	人権推進課
基準値 (R02)	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値 (R08)	
72.20	71.50	0.00	0.00	73.90	0.00	75.00	
向上指針	上がると良い	(状況) 市民アンケートは、令和3年度に実施した以降未実施でしたが、令和6年度実施した結果、2.4ポイント増加していた。 (原因) 令和4年度に守谷市ダイバーシティ宣言を行い、令和5年度にダイバーシティのPRをホームページや広報紙で実施したため、人権が尊重されているまちだと思う市民の割合が増えたと考える。					
対前年度	向上						
目標達成度	中						
次年度課題	課題とする						

基準値 (R02)	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値 (R08)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針						
対前年度						
目標達成度						
次年度課題						

基準値 (R02)	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値 (R08)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針						
対前年度						
目標達成度						
次年度課題						

3 施策に係るコスト（単位：千円）

	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	R08年度
	決 算	決 算	決 算	予 算	見 込
事業費合計	28,949	31,486	41,629	39,539	20,461
人件費	33,579	40,127	36,002	0	0
トータルコスト	62,528	71,613	77,631	39,539	20,461

4 基本事業(取組)の状況

[illegible]

令和 7年度 施策評価シート（令和 6年度実績評価）

政策 01 ひと
施策 05 高齢者福祉の充実
主管課： 健幸長寿課
関係課： 市民協働推進課、介護福祉課、保健予防課、国保年金課、生涯学習課

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）

2 施策の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

自立高齢者の割合						(%)	健幸長寿課
基準値 (R02)	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値 (R08)	
87.60	87.40	86.80	86.70	86.20	0.00	88.00	
向上指針	上がると良い	(状況) 前年度から0.5ポイント減少しており、基準値と比較し1.49ポイント低下している。					
対前年度	横ばい	(原因) 高齢者に対する生きがいづくりや社会参加促進のための高齢者福祉事業及び介護予防事業を推進していることから、近年の成果指標値はほぼ横ばいに推移しているが、後期高齢者人口の増加に伴い、要介護・要支援認定のリスクの高い高齢者が増加しており、指標値が低下したと考える。					
目標達成度	低						
次年度課題	課題とする						

ボランティアや自治会等の地域活動に参加している高齢者の割合						(%)	健幸長寿課
基準値 (R02)	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値 (R08)	
40.60	38.00	0.00	0.00	43.40	0.00	45.00	
向上指針	上がると良い	(状況) 前回調査と比較し、5.4ポイント増加しているが、目標値より1.6ポイント低い状況である。 (原因) 新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、高齢者の社会参加活動は増加しているが、感染拡大以降、外出自粛やライフスタイルの変化等の影響を受けていると考える。					
対前年度	向上						
目標達成度	中						
次年度課題	課題としない						

基準値 (R02)	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値 (R08)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針						
対前年度						
目標達成度						
次年度課題						

3 施策に係るコスト（単位：千円）

	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	R08年度
	決 算	決 算	決 算	予 算	見 込
事業費合計	5,725,206	6,114,249	6,607,151	6,853,836	6,893,354
人件費	54,991	69,230	70,170	0	0
トータルコスト	5,780,197	6,183,479	6,677,321	6,853,836	6,893,354

4 基本事業(取組)の状況

[illegible]

令和 7年度 施策評価シート（令和 6年度実績評価）

政策 01 ひと
施策 06 地域福祉の推進
主管課： 社会福祉課
関係課： 納税課、市民協働推進課、健幸長寿課、保健予防課、国保年金課、のびのび子育て課、建設課、教育指導課

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）

2 施策の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

地域福祉活動でお互いに支え合っていると思う市民の割合							(%)	社会福祉課
基準値 (R02)	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値 (R08)		
52.00	53.30	0.00	0.00	54.10	0.00	60.00		
向上指針	上がると良い	(状況) 令和3年度の市民アンケートの数値と比較して、0.8ポイント増加しているが、ほぼ横ばいの状況となっている。 (原因) まちづくり協議会の活動等が地域に浸透してきている一方で、地域福祉活動の主軸を担っている高齢世代の就労率が向上しており、地域福祉活動への参加が難しくなってきた社会背景があると思われる。						
対前年度	向上							
目標達成度	中							
次年度課題	課題とする							

安心して生活ができると感じている障がい者（保護者）の割合							(%)	健幸長寿課
基準値 (R02)	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値 (R08)		
70.00	80.60	0.00	82.80	75.00	0.00	72.00		
向上指針	上がると良い	(状況) 前年調査と比較し7.8ポイント低下したが、目標値を達成している。 (原因) 障がい者やその家族から寄せられる複合化・複雑化している福祉課題や相談ニーズに対し、適切な支援につなげることができるよう市の各相談窓口の連携に努めていることによるものと考えられる。						
対前年度	低下							
目標達成度	達成							
次年度課題	課題としない							

基準値 (R02)	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値 (R08)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針						
対前年度						
目標達成度						
次年度課題						

3 施策に係るコスト（単位：千円）

	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	R08年度
	決 算	決 算	決 算	予 算	見 込
事業費合計	8,645,199	8,649,655	9,488,894	9,284,252	9,138,656
人件費	147,714	168,896	225,289	0	0
トータルコスト	8,792,913	8,818,551	9,714,183	9,284,252	9,138,656

4 基本事業(取組)の状況

基本事業(取組) 名称	成果指標の動向					事業費				
						R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	R08年度
01 地域福祉活動の活性化	向上					58,871	68,052	77,297	87,195	92,060
02 地域福祉活動の担い手育成と活動への支援	低下					0	0	0	0	0
03 セーフティネットによる自立支援	向上					595,680	569,850	611,142	680,042	685,652
04 在宅生活への支援の充実	向上	低下				1,601,553	1,736,890	1,863,418	2,111,446	2,107,528
05 障がい児者の生活の場の確保	向上					818	830	824	3,990	3,990
06 療育・相談の充実	低下					9,024	8,888	15,126	11,636	11,636
07 医療費の経済的負担軽減	横ば					468,319	520,443	508,623	563,104	565,947

令和 7年度 施策評価シート（令和 6年度実績評価）

政策 01 ひと
施策 07 健康づくりの推進
主管課： 保健予防課
関係課： 健幸長寿課、国保年金課、すくすく保育課、のびのび子育て課、土塔中央保育所、北園保育所、学校教育課

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）

2 施策の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

健康寿命（男性）						（歳）	保健予防課
基準値（R02）	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値（R08）	
81.00	81.60	82.20	82.60	82.20	0.00	81.20	
向上指針	上がると良い	（状況）男性の健康寿命は、昨年度から0.4歳縮まり82.2歳となりましたが、目標値の81.2歳を1.0歳上回っています。 （原因）要介護状態となった原因疾病（介護保険事業計画）では、男性は「悪性新生物（がん）」が最も高くなっていることから、がんの早期発見・早期治療が影響している可能性があります。					
対前年度	低下						
目標達成度	達成						
次年度課題	課題としない						

健康寿命（女性）						（歳）	保健予防課
基準値（R02）	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値（R08）	
85.30	84.50	85.10	85.20	85.10	0.00	86.30	
向上指針	上がると良い	（状況）女性の健康寿命は、昨年度から0.1歳縮まり85.1歳となりました。 （原因）要介護状態となった原因疾病（介護保険事業計画）では、女性は認知症や骨折の割合が高いことから、高齢による心身の変化が起因していると推察されます。					
対前年度	横ばい						
目標達成度	低						
次年度課題	課題とする						

心身ともに健康だと感じている市民の割合						（％）	保健予防課
基準値（R02）	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値（R08）	
75.20	73.70	0.00	0.00	76.90	0.00	80.00	
向上指針	上がると良い	（状況）心身ともに健康だと感じている市民の割合は令和3年度に比較し3.2増加している。 （原因）定期的な健康診査や早期発見・治療ができる医療環境が整っていると考えられる。					
対前年度	向上						
目標達成度	中						
次年度課題	課題とする						

3 施策に係るコスト（単位：千円）

	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	R08年度
	決 算	決 算	決 算	予 算	見 込
事業費合計	1,172,748	1,055,339	574,149	671,347	659,476
人件費	91,166	86,775	84,514	0	0
トータルコスト	1,263,914	1,142,114	658,663	671,347	659,476

4 基本事業(取組)の状況

[illegible]

令和 7年度 施策評価シート（令和 6年度実績評価）

政策 02 地域自治
施策 01 活気ある地域活動の推進
主管課： 市民協働推進課
関係課： 秘書課、デジタル戦略課、総務課、社会福祉課

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）

2 施策の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

市民や市民活動団体等が地域の活性化や課題解決に取り組んでいると思う市民の割合（％） 市民協働推進課						
基準値（R02）	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値（R08）
47.40	45.60	0.00	0.00	47.70	0.00	60.00
向上指針	上がると良い	（状況）令和3年度と比較して2.1ポイント増加している。 （原因）年代別では60歳代・70歳以上で割合が高い傾向にあり、また、地区別では高野・大野・みずき野地区で高い状況で、特にみずき野地区では66.0％と一番高い割合となっている。理由としては、新型コロナウイルス感染症が5類に意向し、まちづくり協議会等の活動が再開されたことによるものと推測する。 ※ R4・R5は市民アンケート未実施のため実績値未把握				
対前年度	向上					
目標達成度	中					
次年度課題	課題とする					

基準値（R02）	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値（R08）
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針						
対前年度						
目標達成度						
次年度課題						

基準値（R02）	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値（R08）
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針						
対前年度						
目標達成度						
次年度課題						

3 施策に係るコスト（単位：千円）

	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	R08年度
	決 算	決 算	決 算	予 算	見 込
事業費合計	107,928	154,313	123,041	172,942	143,858
人件費	64,685	61,033	62,938	0	0
トータルコスト	172,613	215,346	185,979	172,942	143,858

4 基本事業(取組)の状況

[illegible]

令和 7年度 施策評価シート（令和 6年度実績評価）

政策 02 地域自治
施策 02 信頼できる行政運営の推進
主管課： 企画課
関係課： 秘書課、財政課、総務課、税務課、納税課、管財課、総合窓口課、市民協働推進課、会計課、議会事務局、デジタル戦略課

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）

2 施策の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

総合計画に掲げた成果指標の目標値を達成できた施策の割合						(%)	企画課
基準値 (R02)	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値 (R08)	
39.02	0.00	38.89	47.37	25.93	0.00	100.00	
向上指針	上がると良い	(状況) 14施策の成果指標27項目中、目標達成は7項目（達成率25.9%）に留まった。特に市民の意識や行動を測るアウトカム指標11項目では、達成はわずか1項目に過ぎなかった。 (原因) 施策全体の目標達成率が低調であったのは、特に市民の意識や行動変容を測るアウトカム指標の達成が困難であったためと考えられる。これらの指標は事業実施から効果発現までに時間を要し、外部環境の影響も受けやすいため、目標達成に至らなかったと分析できる。					
対前年度	低下						
目標達成度	中						
次年度課題	課題とする						

電子申請の年間利用件数						(件)	デジタル戦略課
基準値 (R02)	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値 (R08)	
18,284.00	28,503.00	43,305.00	55,591.00	89,470.00	0.00	40,000.00	
向上指針	上がると良い	(状況) 令和6年度の利用件数は89,470件で、昨年度と比較し33,879件増加しており、目標値を達成している。 (原因) 広報等による案内や、オンライン申請の種類増加に伴い、利用件数が増加したことが主な要因である。					
対前年度	向上						
目標達成度	達成						
次年度課題	課題としない						

基準値 (R02)	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値 (R08)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針						
対前年度						
目標達成度						
次年度課題						

3 施策に係るコスト（単位：千円）

	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	R08年度
	決 算	決 算	決 算	予 算	見 込
事業費合計	6,969,433	7,551,943	9,914,358	10,892,043	10,525,490
人件費	453,421	534,107	541,132	0	0
トータルコスト	7,422,854	8,086,050	10,455,490	10,892,043	10,525,490

4 基本事業(取組)の状況

基本事業(取組) 名称	成果指標の動向					事業費				
						R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	R08年度
01 計画行政の推進	低下					400,705	391,289	383,972	455,331	58,302
02 健全な財政運営の推進	向上	横ば				5,519,096	6,178,647	8,223,435	8,417,320	9,084,050
03 収納率の向上	向上					164,476	146,911	155,051	191,486	75,514
04 公有財産の有効活用と適切な管理	横ば					274,560	186,003	308,354	413,215	654,309
05 柔軟で効率的な組織運営	向上					109	0	110	175	175
06 適正な人事管理と人材育成	向上					103,970	123,329	132,231	330,636	330,636
07 I C T (情報技術) の活用	向上	低下				248,652	244,241	409,998	744,376	141,398

令和 7年度 施策評価シート（令和 6年度実績評価）

政策 03 くらしの基盤
施策 01 環境にやさしい生活の創出
主管課： 生活環境課
関係課： 管財課、経済課、交通防災課、都市計画課、建設課、生涯学習課

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）

2 施策の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

良好な生活環境が保たれていると思う市民の割合（％）生活環境課						
基準値（R02）	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値（R08）
83.30	81.20	0.00	0.00	77.40	0.00	84.00
向上指針	上がると良い	（状況）令和6年度の割合は、77.4％で、目標とする数値までは達成できていない。 （原因）アンケート回答者の居住地や在住年数などの属性による市民意識の違いについての分析と対応が必要と考えられる。 ※令和4年、5年度は市民アンケート未実施のため実績値未把握				
対前年度	低下					
目標達成度	低					
次年度課題	課題とする					

常総環境センターへのごみ搬入量（1人1日当たり換算）（g/人・日）生活環境課						
基準値（R02）	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値（R08）
672.00	653.00	641.00	611.00	606.00	0.00	663.00
向上指針	下がると良い	（状況）令和6年度の搬入量は611gで、前年度比5g減少し、目標値を達成している。 （原因）ごみ減量の取組として、食品リサイクル堆肥化事業や資源ごみ回収報奨金制度のほか、リサイクルへの取組など市民と協力したごみ減量施策が影響していると考えられる。				
対前年度	向上					
目標達成度	達成					
次年度課題	課題としない					

基準値（R02）	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値（R08）
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針						
対前年度						
目標達成度						
次年度課題						

3 施策に係るコスト（単位：千円）

	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	R08年度
	決 算	決 算	決 算	予 算	見 込
事業費合計	788,693	836,457	831,621	1,020,092	385,333
人件費	36,417	37,677	37,333	0	0
トータルコスト	825,110	874,134	868,954	1,020,092	385,333

4 基本事業(取組)の状況

基本事業(取組) 名称	成果指標の動向					事業費				
						R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	R08年度
01 生活公害・産業公害の防止	向上	向上	向上	横ば	向上	46,598	39,230	42,243	48,376	0
02 ゼロカーボンシティの推進	向上	向上				9,381	1,346	1,365	4,575	0
03 環境保全活動の推進	低下					2,232	828	1,153	1,520	889
04 ごみの減量化	向上	横ば				2,832	2,644	2,566	4,662	4,662
05 再資源化への取組	低下					0	0	0	0	0
06 廃棄物の適正処理	横ば	低下				726,535	791,880	777,043	950,506	379,782
99 施策の総合推進						1,115	529	7,251	10,453	0

令和 7年度 施策評価シート（令和 6年度実績評価）

政策 03 くらしの基盤
施策 02 防災・減災対策の充実
主管課： 交通防災課
関係課： 管財課、市民協働推進課、社会福祉課、介護福祉課、健幸長寿課、都市計画課、建設課、学校教育課

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか） 市民	意図（どのような状態にしたいのか） 危機に対し強さとしなやかさでリスクを回避・低減する。
------------------------	---

2 施策の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

自主防災組織の活動カバー率（自主組織の世帯数/守谷市世帯数）（％） 交通防災課						
基準値（R02）	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値（R08）
75.70	77.50	78.60	79.10	80.50	0.00	83.00
向上指針	上がると良い	（状況）基準値と比べ4.8ポイント、昨年度と比べても1.4ポイント増加している。 （原因）自主防災組織の世帯数が増加したことが原因と考えられる。				
対前年度	向上					
目標達成度	中					
次年度課題	課題とする					

防災訓練の参加率（参加人数/住民基本台帳人数）（％） 交通防災課						
基準値（R02）	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値（R08）
3.10	1.84	4.28	13.80	7.06	0.00	15.00
向上指針	上がると良い	（状況）基準値と比べ3.96ポイント増加、昨年度と比べて56.8ポイント減少している。 （原因）前年度はみずき野地区において町内会全体で訓練が実施されたが、今年度は規模を縮小したため参加人数が大きく減少したことが原因である。				
対前年度	低下					
目標達成度	中					
次年度課題	課題とする					

基準値（R02）	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値（R08）
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針						
対前年度						
目標達成度						
次年度課題						

3 施策に係るコスト（単位：千円）

	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	R08年度
	決 算	決 算	決 算	予 算	見 込
事業費合計	354,027	276,702	182,606	124,556	58,528
人件費	18,470	17,026	16,622	0	0
トータルコスト	372,497	293,728	199,228	124,556	58,528

4 基本事業(取組)の状況

[illegible]

令和 7年度 施策評価シート（令和 6年度実績評価）

政策 03 くらしの基盤
施策 03 市民生活の安全・安心の確保
主管課： 交通防災課
関係課： 経済課、市民協働推進課、社会福祉課、健康長寿課、建設課、学校教育課

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか） 市民が	意図（どのような状態にしたいのか） 市民生活の安全・安心が確保される
-------------------------	---------------------------------------

2 施策の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

火災発生件数 (件) 交通防災課						
基準値 (R02)	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値 (R08)
23.00	17.00	21.00	11.00	27.00	0.00	19.00
向上指針	下がると良い	(状況) 基準値と比べ4件増加しています。 (原因) 消防団及び消防署による火災予防啓発活動を実施しているが、家人の不注意による建物火災が約半数を占めております。				
対前年度	低下					
目標達成度	低					
次年度課題	課題とする					

人口千人当たりの交通事故発生件数 (件) 交通防災課						
基準値 (R02)	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値 (R08)
1.80	1.79	1.57	2.42	2.36	0.00	1.50
向上指針	下がると良い	(状況) 昨年度と比べて0.06件減少したものの、基準値と比べ0.83件上回っている。 (原因) 新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い人の往来が増えたことにより交通事故が増加したものと考えらる。				
対前年度	向上					
目標達成度	低					
次年度課題	課題とする					

人口千人当たりの刑法犯認知件数 (件) 交通防災課						
基準値 (R02)	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値 (R08)
5.90	5.09	5.17	6.11	6.27	0.00	5.10
向上指針	下がると良い	(状況) 基準値と比べ0.37件上回っており、昨年度と比べても0.16件上回っている。 (原因) 防犯指導員及び市民の防犯パトロールの実施、市内の防犯カメラの設置などを行っているが、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い人の往来が増加したことにより、結果への結びつきが弱いと考えられる。				
対前年度	横ばい					
目標達成度	低					
次年度課題	課題とする					

3 施策に係るコスト（単位：千円）

	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	R08年度
	決 算	決 算	決 算	予 算	見 込
事業費合計	1,206,718	1,251,487	1,447,354	1,468,392	1,398,541
人件費	29,147	40,610	29,050	0	0
トータルコスト	1,235,865	1,292,097	1,476,404	1,468,392	1,398,541

4 基本事業(取組)の状況

基本事業(取組) 名称	成果指標の動向					事業費				
						R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	R08年度
01 消防体制の強化	低下					1,037,044	1,108,596	1,288,510	1,284,195	1,309,300
02 救命・救急体制の充実	低下					0	0	0	0	0
03 市民による防火対策の充実	向上	向上				0	0	0	0	0
04 交通安全施設等の整備	横ば					120,373	81,494	110,907	116,797	20,709
05 交通安全意識の向上	向上					17,820	18,128	18,742	21,722	22,191
06 防犯意識の向上	向上					0	0	0	0	0
07 地域で行う防犯活動の推進	向上					0	0	0	0	0

令和 7年度 施策評価シート（令和 6年度実績評価）

政策 03 くらしの基盤
施策 04 利便性の高い都市基盤の整備
主管課： 都市計画課
関係課： 企画課、生活環境課、経済課、建設課、上下水道課

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）

2 施策の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

市街化区域面積 (ha) 都市計画課						
基準値 (R02)	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値 (R08)
985.00	985.00	985.00	985.00	1,000.00	0.00	1,060.00
向上指針	上がると良い	(状況) 前年度から15ha増加した。 (原因) 予定している2つの土地区画整理事業のうちに1つの事業区域について市街化編入を行ったことから数値が増加した。				
対前年度	向上					
目標達成度	中					
次年度課題	課題とする					

緑地率 (%) 都市計画課						
基準値 (R02)	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値 (R08)
47.41	47.41	47.41	47.25	45.08	0.00	46.00
向上指針	上がると良い	(状況) 前年度から2.17ポイント減少し、目標値を下回る数値となった。 (原因) 緑地減少の主な原因は、農振法による農用地区域の減少（令和5年度 567.29ha →令和6年度 490.16ha）であるが、算定方法の修正によるものであるため課題としない。				
対前年度	低下					
目標達成度	低					
次年度課題	課題としない					

インフラ（道路舗装・上下水道管路）の年間改善率 (%) 都市計画課						
基準値 (R02)	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値 (R08)
0.42	0.50	0.36	0.53	0.50	0.00	0.35
向上指針	上がると良い	(状況) 前年度より0.03ポイント減少、基準値からは0.08ポイント増加しており、目標値を達成している。 (原因) 令和6年度は道路の現地調査結果や老朽管更新計画に基づき計画的に更新できたことにより、基準値及び目標値を上回る結果となった。				
対前年度	低下					
目標達成度	達成					
次年度課題	課題としない					

3 施策に係るコスト（単位：千円）

	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	R08年度
	決 算	決 算	決 算	予 算	見 込
事業費合計	7,305,343	12,892,877	9,229,930	11,327,587	4,771,774
人件費	274,631	310,854	340,066	0	0
トータルコスト	7,579,974	13,203,731	9,569,996	11,327,587	4,771,774

4 基本事業(取組)の状況

基本事業(取組) 名称		成果指標の動向					事業費				
							R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	R08年度
01	コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくり	向上	横ば				153,051	137,326	165,487	143,382	130,606
02	土地の適切な規制と誘導	向上	低下	維持			106	4,465,142	67,301	123,093	766,708
03	空家対策の推進	低下	低下				4,811	0	98	3,679	3,679
04	美しい都市景観の形成	維持	低下				3,120	3,697	3,074	3,652	3,652
05	緑地の保全・活用	横ば	向上				11,227	13,930	15,253	15,718	12,415
06	公園・街路樹等の適正な維持管理	低下					555,927	589,170	1,677,289	1,181,635	1,648,173
07	水道水の安定供給	維持	維持	維持	向上	向上	1,244,898	1,862,224	1,483,730	1,520,513	0

令和 7年度 施策評価シート（令和 6年度実績評価）

政策 03 くらしの基盤
施策 05 地場産業の活性化
主管課： 経済課
関係課：

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）

2 施策の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

市内総生産額の増加（令和元年度数値：302,232百万円を100）							（一）	経済課
基準値（R02）	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値（R08）		
100.00	95.14	94.66	0.00	0.00	0.00	110.00		
向上指針	上がると良い	（状況）令和4年度の市内総生産額は令和3年度から1,435百万円減少して、286,097百万円となり、基準年度の94.66%となった。 （原因）令和2年度以降、コロナウイルスの影響により経済活動が落ち込んでいることが要因と考えられる。 ※茨城県が公表する最新データ（令和4年度まで）を入力している。 ※令和2年度はコロナ禍の影響で数値が激減したため令和元年度を基準とする。						
対前年度	低下							
目標達成度	低							
次年度課題	課題とする							

地域資源の入込客数（令和元年度数値：225,173人を基準値に設定）							（人）	経済課
基準値（R02）	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値（R08）		
225,173.00	70,177.00	80,397.00	112,643.00	150,670.00	0.00	247,690.00		
向上指針	上がると良い	（状況）令和5年度と比較して38,027人増加した。数値の内訳は、MOCOフェスタ（25,427人）、守谷市商工まつり（82,133人）、ハーフマラソン（3,692人）、スーパードライミュージウムツアー（39,418人）である。 （原因）新型コロナウイルス感染症が5類になって以降、イベント（MOCOフェスタ、商工まつりなど）が通常開催されるようになってきたことが入込客数増加の要因と考えられる。 ※令和2年度はコロナ禍の影響で数値が激減したため令和元年度を基準とする。						
対前年度	向上							
目標達成度	低							
次年度課題	課題とする							

基準値（R02）	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	目標値（R08）
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針						
対前年度						
目標達成度						
次年度課題						

3 施策に係るコスト（単位：千円）

	R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	R08年度
	決 算	決 算	決 算	予 算	見 込
事業費合計	243,044	290,512	253,783	259,311	315,127
人件費	28,053	33,260	35,584	0	0
トータルコスト	271,097	323,772	289,367	259,311	315,127

4 基本事業(取組)の状況

[illegible]